

目標-

目標 - 電子納品化に対応した品質検査技術の開発 紙と電子の二重納品を排除するための現地検査方法の開発や書類検査の省力化を図る。						利用フェーズ	設計・施工		
利用者	本省	本局	事務所	出張所	調査	設計	施工	利用業務	電子納品作成・監督検査

現状・課題

- 設計や現場で得られる電子データを紙に印刷して監督・検査に用いられており、二重納品となっている。(多量の紙資源を使用している。)
- 必要となりそうな資料を用意し、資料一式を持って現場へ向かう。
- 急遽、他の資料が必要になった。

納品はCDで

検査は紙で

現場へは紙資料を持参

目標

- k) 二重納品を排除するための現地検査方法の開発(モバイル機器の開発等)
- l) ICT等を活用した書類検査の省力化

実施項目	H20	H21	H22	H23 ~	行動計画の分類			
					システム開発・改良	機器調達	既存サービスの活用	
新 現地検査方法の開発(二重納品の排除)	電子データによる監督検査方法の開発	監督・検査要領の改正	運用	→		()		k
新 現地検査に使用するモバイル機器の導入		機能要件の検討	試行	→		()		k
新 書類検査の省力化		電子書類検査技術の検討	電子書類検査試行運用	→		()		l